

そっけん

# 息軒だより

三計の教え



令和5年度4.5月号(第37号)

発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
理事長 齋藤義輝 館長 川口眞弘  
〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail [sokken.yasui@pic.bbq.jp](mailto:sokken.yasui@pic.bbq.jp)

<https://yasuisokken.jp>

一日の計は朝あしたにあり

一年の計は春はるにあり

一生の計は少壮しょうそうの時にあり



QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

## 息軒ふるさとウォーク ～ 早春の中野と南加納を歩く ✨ ～

3月5日(日)、天候にも恵まれて「息軒ふるさとウォーク」を開催しました。今回は「息軒ゆかりの地」というよりも、息軒を育んだ歴史や自然に親しむという趣向で、中野と南加納の史跡等を探訪し、32名の皆様にご参加いただきました。

「安井息軒旧宅」前、「飢肥藩清武郷校の明教堂跡地」横を通り、飢肥藩清武郷の役所「地頭所」の前と「湯地家の長屋門」で解説。「蓮徳寺墓地」に上り、そこから通称「チンチン坂」(この地でその昔、盗賊に遭い殺害された六部<行脚僧>由来の坂)を通り、加納にある「河崎権助かわさきごんすけの墓」でまた解説をしました。

さらにそこから旧飢肥街道を下り、飢肥街道踏切を渡って左折、南北朝時代に北朝方の細川小四郎義門の政所(まんどころ)があったとされる通称「ぎによもん屋敷」跡の前を通り、最後に「空襲証言の石垣」(南加納の民家にあり、太平洋戦争におけるアメリカ軍の空爆の痕跡が生々しく残る)を見て、昼前に記念館に帰ってきました。道中、桃や木蓮等の春の花木を楽しみながらの散策でした。参加者の皆様、お疲れさまでした。



## 第2回 安井息軒顕彰 小学生俳句コンクール

### 短歌・俳句・川柳コンクール(成人の部) 開催 🌸

題材は息軒と、息軒がこよなく愛した梅などです。今回は小学生の部は宮崎県俳句協会にお願いして、清武小学校と加納小学校で「俳句教室」を開催していただいた上で、清武町域を対象に作品を募集しました。審査員の先生方は短歌の部、伊藤一彦先生、川柳の部、間瀬田紋章先生、俳句の部、田上比呂子先生、山口木浦木先生、池袋 寛先生、日高まりも先生にお願いしました。その結果、小学生俳句コンクールには4・5・6年生で600点以上、成人の部 短歌・俳句・川柳コンクールには約100点の応募があり、合計50点の入賞作品を選んでいただいて、3月18日(土)、記念館で表彰式を行いました。入選作品は5月6日まで研修室に展示、結果は安井息軒記念館ホームページでも公開しています。(文責:川口)



# ❀ 令和4年度 第21回梅まつり盛大に ❀

安井息軒は江戸末期、寛政11年(1799)元旦、飢肥藩清武郷中野の現安井息軒旧宅に生を受けました。これは旧暦の正月ですので今でいえば梅の花の咲く頃です。安井滄洲・息軒父子が梅をこよなく愛したということもあり、毎年この時期に当たる建国記念の日の2月11日に、「安井息軒梅まつり」を開催しています。今年は数えて21回目… ここ2年間はコロナ禍により開催できませんでした。ですからコロナ対策には万全を期した上で、満を持して午前中だけ、食事の提供はなしということで、3年ぶりの梅まつりを開催しました。

当日は寒くもなく天気も上々、開花の遅かった梅もほぼ満開。午前9時30分、安井息軒顕彰会、齋藤理事長のあいさつで開幕、市芸術文化連盟清武支部の皆様による書道吟&詩舞、木花相撲踊りや青島臼太鼓踊り、竹内ダンススクール、宮崎雅楽会、清武音頭、<sup>ゆきのかい</sup>行之会による琴の演奏、心響鼓 Don による太鼓演奏などが特設舞台を彩りました。午前中だけの開催でしたが、約千名のお客様にお楽しみいただきました。清武中学校、加納中学校はじめたくさんのボランティアの皆様にも大変お世話になりました。(文責：川口)



木花相撲踊り



書道吟&詩舞



青島臼太鼓踊り



竹内ダンススクール



梅満開の安井息軒旧宅



行之会 琴演奏



宮崎雅楽会の演奏



清武さんさんクラブ 清武音頭



太鼓演奏 心響鼓 Don

ステージ以外にもさまざまなイベントが…

ボランティアも大活躍 ✨🌈



旧宅での息軒かるた大会



息軒クイズラリー



旧宅裏庭四半的体验



県人権擁護委員協議会

バルーンアート



日本農業遺産農産物等販売



閉会行事



## 呈茶も久々に開催



日頃当館付設の茶室「香梅庵」をご利用いただいている先生方やグループの皆様のご協力を得て、2月2日（木）から9日（木）まで、こちらも3年ぶりの開催となる「呈茶」を実施しました。例年になく開花が遅く心配されましたが、呈茶の始まる頃には次々と咲き始め、梅の花が彩を添えました。休館日の6日（月）を除く7日間開催して、延べ180名のお客様にお楽しみいただきました。ご協力いただきました先生方、グループの皆様方、誠にありがとうございました。紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。



## 宮崎市安井息軒記念館 夏場にエアコン入替工事をします…

「宮崎市安井息軒記念館」の前身である「きよたけ歴史館」は平成14年9月23日に開館しました。以来21年が経過して空調設備が老朽化し、環境基準にも適合していないため、2階の安井息軒記念館部分の空調設備から順次更新していただくことになりました。更新は大掛かりな作業なので、誠に恐縮ながら7月から8月にかけてしばらくの間、記念館を閉館しなければならない見通しです。しかしながら工事日程等が決定してないため、令和5年度の講座やイベントについてはまだ公表できない状況です。日程が決まり次第公表させていただきます。差し当たり、**4月から5月にかけて開催予定の講座等**だけご案内させていただきます。

- 1 息軒会読I 『弁妄』詳シク解セツ 第1回 4月8日、第2回 4月22日… 13:30～15:30 ◆ ♪  
当館の学芸員青山による、息軒のキリスト教批判書『弁妄』の詳しい解説（原則毎回受講、受け中）
- 2 ゴールデンウィーク特別企画 4月29日（土）～5月7日（日） GWはご家族で記念館へ 📺  
安井息軒紙芝居「いつか日本一に」上映、息軒クイズラリーに挑戦（景品付き）
- 3 記念館講座第1回 放送大学大学院歴史研究会 那良則人先生 6月24日（土）10:00～11:45  
「薩英戦争と飢肥藩」 事前申し込み要 好評受け付け中
- 4 新規講座 古文書講座 全6回講座（原則毎回受講） 第1回 6月3日（土）10:00～11:45  
『宮崎騒動覚書 上』 ～宮崎郡5カ村逃散一揆未遂資料を読む～ 松浦祥雄先生 （文責：川口）

## 今に生きる安井息軒の言葉：息軒思想詮釈（読み直し）04

「〔息軒〕先生は大の西洋嫌い」という相馬永胤<sup>ながたね</sup>の証言があります。一方で息軒は西洋の科学技術の導入を推奨していました。西洋嫌いのくせに西洋技術を推奨するという息軒の姿勢は、どのような考えにもとづくのでしょうか。息軒がある老中の下問に応えた上書に、次の一節があります。

才智 衆に勝れ候<sup>すぐ</sup>ふ人は、善悪には迷はず候<sup>な</sup>へども、馴れざる事を厭<sup>いと</sup>ひ、馴れたる事を安んじ候<sup>やす</sup>ふ儀、是れ又た人情の常に御座候ふ。

（『時務一隅』、『如蘭社話・後編』3、p.13表）

ここで息軒が言っているのは、現代の心理学で「現状維持バイアス」と呼ばれているものです。従来より効率的な新方式を提案しているのに、「今まで困ってなかったし、別に変えていっちゃが」と却下されることはよくあります。息軒によれば、それは聞き手の理解力が低いためではなく、慣れたやり方に安住したがるという心理によるものなのです。息軒はこのことを自戒としていたのかもしれませんが。

（文責：青山）

## 令和4年度第21回安井息軒梅まつりが盛大に開催されました 🌸

詳細は、P2 に記載してありますが、今回の特徴としては、清武中・加納中生徒（26名）の他に清武・加納地域まちづくり協議会会員（10名）、行政の絆プロジェクト清武（5名）、顕彰会協力員（5名）、その他顕彰会役員・会員、町内外の協力者総計92名のボランティアスタッフ、さらには市教育長、清武



総合支所長、県議・市議及び地元関係機関団体等の代表者25名の来賓の方々のご協力があったことです。半日の開催でしたが、ステージ出演、息軒クイズラリー、各種体験及び模擬店、農産物販売等を含め1,036名の参加者がありました。梅まつりの開催をとおして地域の活性化に一層貢献していきたいと思っております。

## 安井息軒顕彰会に企業から寄付金をいただきました 🌟

3月3日、安井息軒記念館で『みやぎん CSR 型私募債(with)に係る寄付の贈呈式』があり、(株)セーリング様から多額の寄付金をいただきました。今後、当顕彰会の事業活動費として有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



## 東九州自動車道(清武南～日南北郷)開通記念式典に参加しました！

3月25日(土)に、清武総合支所駐車場で開通イベントが開催され、当顕彰会は狭義の「飢肥街道」(宮崎市源藤町～日南市北郷町北川内)及び道中の名所旧跡(山仮屋隧道・同関所跡、椿山公園の殿様道路等)の地図と今回開通した東九州自動車道とを対比した地図を作成して、来場者に配布しました。ご協力いただきました田野・清武日本農業遺産推進協議会に感謝申し上げます。

※ 対比地図や名所旧跡等の資料は、ご希望があれば宮崎市安井息軒記念館で入手できます。

## <令和5年度安井息軒顕彰会の総会について>

安井息軒顕彰会の総会を令和5年5月27日(土)10時～11時30分、安井息軒記念館で開催いたします。過去2年間はコロナ禍により書面表決を余儀なくされましたが、今回はご参加の会員による直接対面方式で開催いたします。なお、正会員の皆様には、5月中旬以降に総会出席のご案内を申し上げます。



## <正会員及び賛助会員の会費の値上げについて>

安井息軒顕彰会は、会員の皆様方からお預かりしている会費、宮崎市等からの補助金、図書販売等の益金及び積立金等を義務経費(税理士委託、法人税、事業所得税、事務管理運営費)と各種事業費(安井息軒記念事業、各種セミナー、みやぎき三計塾、こども息軒塾他)等の費用に充当しています。昨今は通信料や消耗品等価格の値上げ等の影響で厳しい財政状況にあります。したがって、令和5年度から正会員、賛助会員の会費をそれぞれ年間1,000円の増額を計画し、**正会員が年間3,000円、賛助会員が年間2,000円**という方向で5月の総会に提案させていただく予定です(前回の改訂は13年前の平成22年で、正会員の会費を1,000円から2,000円に増額、賛助会員1,000円を新設)。何とぞご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

## <ご来館の皆様方へのお願い>

- 新型コロナウイルスの感染防止対策へのご協力をお願いします。
  - ・正面玄関に消毒液を設置しています。手指の消毒をお願いします。
  - ・入館時の検温にご協力ください。
- 安井息軒顕彰会の管理運営などについて、ご意見ご要望がありましたら電話、FAX、e-mail等でご連絡ください。



NPO 法人 安井息軒顕彰会



事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1

(宮崎市安井息軒記念館内)

電話：0985-84-0234 FAX 84-2634

e-mail : yasuisokken@yahoo.co.jp